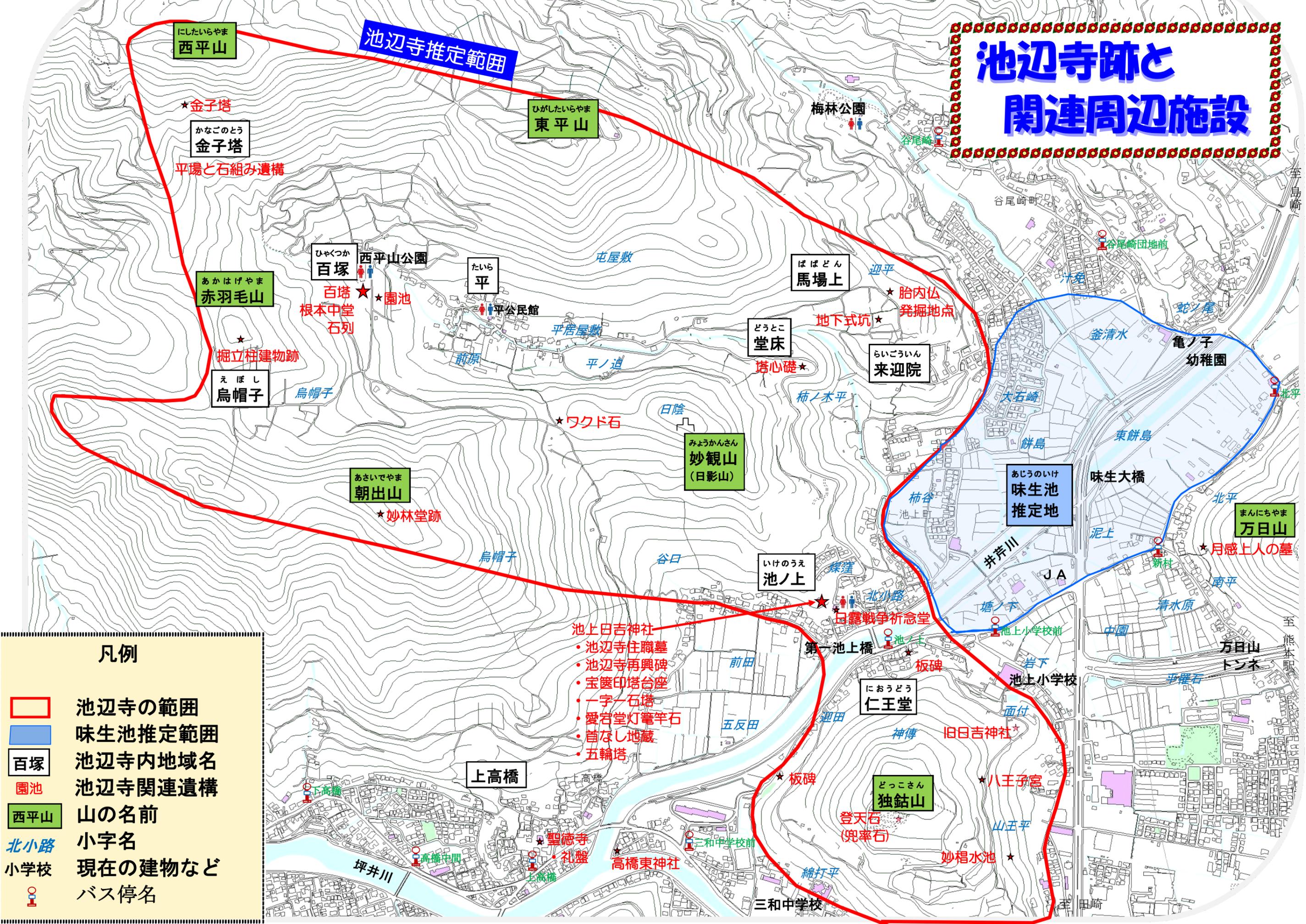


池辺寺跡と 関連周辺施設

池辺寺推定範囲



凡例

- 池辺寺の範囲
- 味生池推定範囲
- 百塚 池辺寺内地域名
- ★ 園池
- 西平山 池辺寺関連遺構
- 赤羽毛山 山の名前
- 北小路 小字名
- 現在の建物など
- バス停名

- 池上日吉神社
- 池辺寺住職墓
- 池辺寺再興碑
- 宝篋印塔台座
- 一字一石塔
- 愛宕堂灯籠竿石
- 首なし地藏
- 五輪塔

まんにちやま
万日山
★月感上人の墓

仁王堂

どっこさん
独鈷山
登天石(兜率石)

上高橋

高橋東神社

八王子宮

妙稻水池

三和中学校

池上小学校

万日山
トンネル

味生大橋

清水原

来迎院

釜清水

龍ノ子
幼稚園

堂床
塔心礎

地下式坑

馬場

梅林公園

谷尾崎

東平山

西平山

金子塔

平場と石組み遺構

赤羽毛山

烏帽子

朝出山

妙林堂跡

妙観山
(日影山)

日陰

ワクド石

平ノ道

平居屋敷

平公民館

平

西平山公園

百塚
根本中堂
石列

烏帽子

ひやくつか
百塚

かなごのとう
金子塔

にしいらやま
西平山

至
熊
本
駅

幸
島
崎

南
平

北
平

東
餅
島

大
石
崎

餅
島

蛇
ノ
尾

谷
尾
崎
町

谷
尾
崎
団
地
前

梅
林
公
園

池
上
小
学
校
前

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校
前

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校

池
上
小
学
校

池辺寺関連年表

時代	西暦	元号	事柄	()内は記録が残っている文献等	そのころの日本
	708	和銅年間	池辺寺伽藍を創建(金子塔碑文)		
	710	和銅3	池辺寺伽藍を創建(『池辺寺縁起絵巻』)		奈良に平城京が築かれる(710年)
奈良	713～ 717	和銅～ 養老	道君首名 が肥後国司となり、味生池を構築(『続日本紀』)		藤原氏が台頭してくる
	804	延暦22	最澄 (伝教大師)と 空海 (弘法大師)が遣唐使として唐に渡る		遣唐使が盛んに派遣される
	805	延暦23	最澄 、天台宗を学んで帰国。日本で天台宗を広める		
	806	大同元	空海 、帰国前に独鈷を投げ、妙観山に届く『縁起絵巻』		
	9c前葉		このころ 、百塚・堂床・烏帽子地区に寺院建立(出土遺物から)		全国に空海伝説が残る
	9c後葉		百塚の寺院が廃棄される(出土遺物から)		藤原氏が政権を握る。菅原道真の活躍
	912	延喜12	仙海 が池辺寺の学頭職になり、無動寺相應より振鈴が届く		
			法相宗より天台宗に改める(『縁起絵巻』)		
	924	延長2	日吉山王の神の使いである三匹の猿が現れる(『縁起絵巻』)		平将門の乱(935年～)
	976	貞元元	伽藍が焼失し、寺を移す(金子塔碑文『縁起絵巻』)		摂関政治
1077～ 1081	承暦年間	快珍 が雨乞いの修法を行なう(『縁起絵巻』)		後三年の役で源義家が活躍する	
1169	嘉暦元	俊苧 が池辺寺に預けられる(『泉涌寺不可棄法師傳』など) 俊苧 が破壊されていた堂塔を再興する(『縁起絵巻』)		平清盛、太政大臣に(1167年)	
1190～ 1199	建久年中	大友義直 が愛宕堂建立(『文政九年改帳』)		鎌倉幕府成立(1185年)	
1251	建長3	「肥後鹿子木莊地頭日録」に「無動寺領池辺寺」の記載あり(『勸修寺文書』)		日蓮、日蓮宗を開く(1253年)	
1319	元応元	薬師如来石造(高野辺田)		後醍醐天皇即位(1318年)	
1325	正中2	薬師如来石造(高野辺田)		建武の親政	
1337	建武4	金子塔建立(『金子塔碑文』)		足利義満、金閣寺造営(1398年)	
1396	応永3	宝篋印塔(池ノ上神社)			
1442	嘉吉2	一字一石碑(池ノ上神社)			
1514	永正11	地藏板碑(二王堂)		全国で戦国大名が力をつける	
1530	享禄3	板碑(高野辺田)		鉄砲伝来(1543年)	
1531～ 1536	享禄4～ 天文5	菊池義宗裁許状		(菊池義宗＝大友重治。大友宗麟の叔父)	
1550～ 1561	天文19～ 永禄4	吉岡長増礼状		肥後国の北半は大友氏の影響強まる	
1551～ 1557	天文20～ 弘治3	大友義鎮巻数請取書状		(大友義鎮＝大友宗麟。豊後の戦国大名)	
1552	天文21	大友義鎮安堵状			
1558～ 1562	永禄元～5	大友義鎮礼状2通		桶狭間の戦いで織田信長が勝利(1560年)	
桃安 山	1588～ 1611	天正16～ 慶長16	加藤清正 、味生池埋立(本妙寺浄池公廟碑文)		
	1600	慶長5	加藤清正、愛宕社頭を再興(『文政九年改帳』)		江戸幕府成立(1600年)
	1633	寛永10	細川忠利、愛宕社の新社頭建立(『文政九年改帳』)		加藤家改易、細川家入国(1632年)
	1639	寛永16	愛宕堂灯篭竿石(池ノ上神社)		
	1676	延宝4	『池辺寺縁起』		徳川綱吉、将軍になる(1680年)
	1729	享保14	住職墓碑(池ノ上神社)		徳川吉宗、将軍になる(1716年)
	1739	元文4	住職墓碑(池ノ上神社)		青木昆陽がさつまいもの栽培方法を広める
	1773	安永2	住職墓碑(池ノ上神社)		田沼意次の政治
	1783	天明3	松尾焼花瓶に年号。寺名記銘		松平定信による寛政の改革
	1783	天明3	秀晃 による池辺寺再興碑(池ノ上神社)		
江戸	1791	寛政3	独鈷堂・地藏堂・護摩堂・観音堂はなくなっている(『文政九年改帳』)		
	1804	文化元	『池辺寺縁起絵巻』作成される		盛んに外国船が鎖国中の日本に来る
	1839	天保10	住職墓碑(池ノ上神社)		大塩平八郎の乱
	1870	明治3	廃仏毀釈による廃寺		明治維新(1867年)
	1874	明治7	住職夫妻墓碑(池ノ上神社)		
	明治				